

## 地域密着型サービス事業所の自己評価項目（自己評価結果表）

（調査項目の構成）

### I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

### II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

### III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を生かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
  - (1) 一人ひとりの尊重
  - (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援
  - (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援
  - (4) 安心と安全を支える支援
  - (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり
  - (1) 居心地のよい環境づくり
  - (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり

### V. サービスの成果

#### ※記入方法

- 管理者が介護従業者等と協議し記入すること。
- グループホームの場合は、ユニットごとにその管理者が介護従業者等と協議し記入すること。
- 取り組みの事実を実施している内容、実施していない内容の両面から記入すること。
- 取り組んでいきたい項目に○を記入し、すでに取り組んでいることも含めて、取り組んでいきたい内容を記入すること。
- サービスの成果は取り組みの成果に該当するものを○印で囲むこと。

#### ※項目番号について

- 評価項目は、100項目です。

事業所名 グループホーム 里山 うらら

ユニット名 1 F

自己評価実施年月日 平成 20 年 4 月 25 日

記録者氏名 古賀 敏衣

記録年月日 平成 20 年 4 月 25 日

(様式1)

## 自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	職員一同理念を共有し、常に理念を元に地域の方や利用者とかかわっている	○ 毎朝勤務開始時、理念を読み上げる
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念に基づいた支援を行っている	○ 職員会においても理念を読み上げ、それに基づいた取り組みができているかを話し合っている
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	かかわりのある都度、理念をまじえてお話しさせてもらっている	○ 催しなどに参加していただき、その都度、理念を理解していただくように努めている。また、新しく入居される場合は重要事項説明書と同様に説明できている。
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	1/W、地域の方と体操を通じてお茶を一緒に楽しむようにしている。またお散歩などを通じて、近隣の方との会話も楽しんでいただいている。	○ 越知町で勤めている体操を施設で行っている
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	・地域の清掃参加 ・うららでの催し物に参加をしていただいている ・運営推進会への参加	○ 地域での催し物、行事には必ず参加して交流を深めている

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p> <p>法人連携の元に、常時話し合いができています</p>	○	ご家族、利用者に対し法人全体の職員が一つとなって支援できている
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p> <p>前回の指摘箇所は改善され、入居者の生活向上に繋がっている。何よりこの外部評価が元となり、職員のモチベーションが上がった。</p>	○	<p>業務日誌をもっと活用し充実を図る ケアプランについて マニュアルの整理 研修報告について 施設内の視覚的な演出について 等</p>
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p> <p>新しい委員さんが参加される都度、運営推進会議の目的と方針について話をしており、十分な理解が得られている。また、本来の目的である入居者のためになる話し合いをしている。また、会議の内容がいつでも見ていただけるよう、フロアに議事録を掲示している。</p>	○	家族会の時にも会議の内容を報告し、意見や参加をお願いしている。
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p> <p>定期的に会を行い、意見の交換をしている。また、入退居のある場合はどのような理由から退居するに至ったかや次に入居される方の状況等を報告書類を持って説明に伺っている。</p>	○	誕生日会等への催しものに、ご参加いただいている。
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p> <p>勉強会には積極的に参加し、職員会でも話し合うようにしている</p>	○	それぞれのご家族ひとりひとりに説明、対応している
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている</p> <p>勉強会には必ず参加し、全職員が理解できている</p>	○	職員会でも必ず確認を取るようになっている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	書面を見ていただきながら、ご本人とご家族に説明できている。また、ご家族にはその書類をお渡ししている。	○	必要事項には確認の印をいただいている
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	書面での説明を行い、フロアーにも表示されている	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メッセージカード配布</li> <li>・苦情箱の設置</li> </ul>
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月のメッセージカードで利用者の様子等をお知らせしている。また年数回行われる催し物のあるときの家族会で皆さんの健康状態や職員の異動等については話ができている。	○	職員の異動についてのお知らせはその都度できている
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情ポスターや苦情箱を設置している（なかなか苦情をいただけないので、こちらから声掛けもし、その都度対応している）。その他、外部評価時には、ご家族から直接の苦情を言っていたらと思われる。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情報告先などのわかるポスター</li> <li>・各フロアーに苦情箱を設置している</li> </ul>
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	必要に応じて、臨時会を行うようにしている	○	毎月第1月曜日に実施している職員会でその都度話し合いを行っている
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	予定や計画に合わせた勤務体制を組んでいることはもちろんのこと、十分臨機応変に対応できている	○	状況に応じた対応ができるような体制をとっている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	やむを得ない事情以外は異動をしていない。利用者へのダメージを防ぐ為の対処としては、いつの間にか職員が代わっている状況ではなく、全員に挨拶をして回り、勤務に就いている。	○	利用者やご家族に説明し、納得していただいている
<b>5. 人材の育成と支援</b>				
19	○職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間の勉強会を個人に合わせ、計画的に取り入れている	○	管理者は、気付いた時、その都度育成に努めている
20	○同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	新設の研修の受け入れや定期的開催される連合会の研修会等に参加し、情報を交換している	○	新設された佐川町のいこいの里さんや須崎市のぬっくさんとの交流が始まりました。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み  運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	状況に応じて個人対応や食事会などを行って、声を聞くようにしている	○	職員の変化に気をつけ、早い対応を心掛けている
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み  運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	人事考課をふまえた年2回の賞与時に、全員と面談を行い、個人の努力と成果に応じた報酬が支給できているか、個人に確認している。そういった取り組みを重ねることで、本人の熱意に任せっきりでなく事業所サイドからモチベーションを上げるよう努めている。	○	職員個々の面談において、できている事、できていない事を再認識させている

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	○初期に築く本人との信頼関係  相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	その都度、話を聞いた上で対応できている	○  話しやすい状況をつくるように心掛けている
24	○初期に築く家族との信頼関係  相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	その都度、話を聞く場を設ける等して対応できている	○  ご家族の希望に添って電話や話し合いの場を設けるようにしている
25	○初期対応の見極めと支援  相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談者の話を良く聞き、何を求めているかを一人の判断ではなく、各フロア単位で話し合いの場を持ち、正確に捉えている	○  何を望まれているかをキャッチする
26	○馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	おためしの形を取り、その上で利用していただいている	○  ご家族も一緒に遊びに来ていただいたり、他の入居者と一緒に会話を楽しみながら食事をしていただいた上で、利用していただくようにしている
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日常生活の中で自然に教えていただいている	○  その方の得意分野を把握して職員に対し指導していただくようにしている

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28 ○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族の一員として接している	○	情報の共有をしている
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援  これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	できるだけかかわりを多く取って情報を共有するようにしている。その情報を元に、ご本人とご家族とが話をさせていただくことで、一人ではないという安心感を与えられている。	○	ご家族、お孫さんなども含めての交流を持ち、より深い交流を持っている
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	外出、遠足、その方の住まわれていた地域を選んでの活動を行っている	○	季節に応じて、その地域（花・畑）への外出を行っている
31 ○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	共通の話題や雰囲気作りに努めている	○	職員も一緒になり共通の会話や行動ができるよう努めている
32 ○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	定期的に電話などで様子を伺ったり、状況に応じて催し物にも参加をしていただけるよう、声掛けをしている	○	うらら便りの発行をしている

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
<b>1. 一人ひとりの把握</b>				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人家族も含めて話し合いをしている	○	本人が希望を言いやすい雰囲気を作るよう努めている
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族、地域の方からの情報提供をお願いしている	○	その方を理解し希望に添えるよう努めている
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	毎月各フロア単位でカンファレンスを行い、変化に合わせておこなっている	○	日々の変化を見逃さないようにしている
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、家族をまじえての計画を作っている	○	変化があればその都度カンファレンスを開き対応している
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	変化に応じその都度変更している	○	変化があればその都度カンファレンスをして対応している



項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	状態の変化があればその都度話し合いを持ち見直しを行っている	○	経過記録にはわかりやすく記載し、連絡簿でも共有してその都度、見直しを行っている
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	法人全体で連携の取れた支援ができています	○	常時、併設病院との連携が取れている。老健デイサービスも連携が取れている。
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	必要に応じての支援と協力はしていただいている	○	地域との交流の中でその方にあつた支援をしている
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	必要に応じての支援と協力はしていただいている	○	地域との交流の中でその方にあつた支援をしている
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターとの協力の下、体操などを行っている	○	常時連絡をとって包括支援センターと共に、活動を行っている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	連携体制が良いため、すぐに対応ができています	○	昼、夜、関係なく医療は受けられる
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	連携体制が良いため、すぐに対応ができています	○	昼、夜、関係なく医療は受けられる
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	常時対応が可能になるような体制ができています	○	定期的な受診により良い関係ができています
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	全く問題なく話し合いができています	○	病院との関係は問題なく常時できています
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	全員が同じ方針で取り組んでいる	○	ご家族、医師、職員をまじえての話はいつでもできる状態である
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	問題なくできています	○	医師の指示の元、その都度、ご家族と共に取り組んでいる

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	○	スムーズな住み替えができる様に、十分な話し合いを行っている
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>			
(1)一人ひとりの尊重			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしている</p>	○	プライドを傷つけない様な声掛けをし、記録だけの個人情報書類の取扱には十分気をつける
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	○	本人の選択のできる状況や環境づくりに心掛けている
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	○	ご本人には規制のない自由な生活をしていただいている
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンスの中からお本人の希望の物を着ていただいている</li> <li>・希望をされれば、美容院への送迎をしている(施設内での、カット、毛染めも行っている)</li> </ul>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	その都度、希望を聞いてのメニューを心掛けている	○	季節の物を取り入れている（竹の子、いたどり等）
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	ご本人の希望をご家族と相談し対応している（制約は特に行っていない）	○	希望を聞いて食事メニューを決めている
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	その方に合った支援をしている（1F・・・7名）	○	その方のパターンに合わせた対応をしている
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日希望を聞き、いつでも入浴できる様に準備している	○	時間帯を決めず好きな時に入浴していただいている
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	ご本人の望む自由な生活をしていただいている	○	家と同じように好きな生活をしていただいている
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	山の上まで車で登り、眼下に広がる田園風景を眺めながら食事をしたり、土佐弁カルタを楽しんだり、皆さんで多くの楽しみごとを行っている。	○	一人ひとりに合わせたできる事、好きな事をしていただいている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	1Fでは誰一人管理が出来ず、またご家族からも強く止められている。	○	お買い物先ではご本人の財布を持っていただき、お金を使っていることの実感も味わっていただいている。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	希望時にお散歩等に出かける様にしている	○	体調を見ながら外出の支援をしている
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	希望に応じて、全入居者を順番に行っている	○	ご家族と共に自由に外出していただいている
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望に応じて行っている	○	希望があればその都度、行っている
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも来ていただける状態である	○	家族の一員として、訪問を受け入れており、また訪問者も年々増えてきている。
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	勉強会などに参加して、職員全員が理解できている	○	職員会の度に身体拘束についての理解を深めている


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵は掛けていない	○	自由にできるようにしている
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常時できている	○	利用者から目を離さないように、常時目配りと気配りをしている
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	危険物は一箇所に保管して、鍵を掛けている	○	目に付く場所には、危険物を置かないようにしている
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	勉強会に参加し、知識向上に努めている	○	一人ひとりを把握し、事故防止に努めている
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	併設病院での勉強や消防による救命救急の訓練を実施している	○	年2回の救命救急訓練実施
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署主導による訓練及び職員間での訓練を行っている。夜勤体制が1名であるということから特に災害の発生が夜間に発生した場合の想定に力を入れている。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回の消防訓練</li> <li>・その他自主訓練を年2回</li> </ul>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	面会時、必要に応じて話し合いを持っている	○	状態の変化に応じて話し合いを持っている
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	状態チェック表を利用して把握している	○	毎日の状態をチェックして早期発見に努めている
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	併設病院との連絡を密に取り確認を行っている。3重のチェック体制を敷いており問題はないと思われる。	○	院外薬局を浜田薬局に指定している。例えば、ある入居者の処方内容に変化がある場合はそのケアの職員全員で情報を共有できるようにしている。また服薬時には2名の職員がチェックを行い、入居者にお渡ししている。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	献立にも便秘を防ぐメニューを多く取り入れると同時に毎週火曜日には地域の方も一緒に体操を行っている。	○	・水分、繊維物を多く摂るようにしている ・散歩も行うようにしている
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口腔ケアに関する勉強会への参加をしている。また全員が同じケアが出来る様、技術面等、周知徹底をしている。	○	ご本人でできないことを支援している
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	前回の外部評価の際、過剰な水分補給を指摘され改善を行った。また、栄養バランスについては月に1度法人の運営する病院の管理栄養士にチェックを行ってもらっている。	○	一人ひとりに合わせた盛りつけや水分補給を各ケアの担当責任者が週に1度チェックを行っている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	法人内の他施設において大発生したノウイルスを沈静化するための取り組み等、法人全体での勉強会も多く、またマニュアルも作成している。結果1F、2F両階の入居者皆様が感染を免れる事が出来た。	○	毎月1回法人全体の感染委員会にも参加し、その内容はグループホームにおける職員会にて委員から全職員に報告を受けている。また、議事録はいつでも確認できる状態にある。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国の食材を避ける</li> <li>・手洗い励行</li> <li>・買いだめをしない</li> <li>・できるだけ地元の食材を使用する</li> </ul>	○	新鮮な物を心掛け、調理用具の消毒に努めている
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関がバリアフリーであることはもちろんのこと、季節の花などを飾り、気持ちよく多くの方に入室していただけるよう家庭的な雰囲気づくりを心がけている。	○	玄関脇にベンチを置き、季節の花を楽しんでいただけるようにしている
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	室内でも季節を感じられる装飾を行い、居心地良く過ごしていただける努力をしている	○	季節の花植えなど <ul style="list-style-type: none"> <li>・雛飾り</li> <li>・五月人形</li> <li>・クリスマスツリー</li> </ul>
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関フローアーに一人掛けのソファ、交流ルームには畳を設置して対応している	○	パーティションで区切られている



項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	ご本人、ご家族の希望の物を持ってこられている	○	ご家族にもご協力いただき、たびたび訪問に 来ていただくようお願いし、少しでも入居者ご 本人が安心していただけるようにしている
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	全ての部屋に換気扇を設置している	○	・換気扇 ・こまめに窓を開けている
<b>(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	その方に応じた家具など、配置に気をつけている	○	その人にあった居室づくり、手摺り、洗面台の 高さ
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	その人に合わせて支援している	○	・場所の表示をわかりやすくしている ・声掛け
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	季節の花を植えて、水やりや散歩、草取りがで きるようにしている	○	フロアからすぐに外に出られるように、又フ ロアから花を見られるようにしている

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

季節を感じられる場所（桜や芝桜、田植え、イチョウ）、おいしい食事、笑いの絶えない日々には自信があります。男性3名、女性6名のグループです。皆さん仲が良く、楽しい日を過ごしています。